

# 吹田市健都イノベーションパーク利用事業（令和2年度公募） 事業者選定会議 議事要旨

## 1 議事要旨

### (1) 第1回 吹田市健都イノベーションパーク利用事業（令和2年度公募）

事業者選定会議部会

#### ア 日時

令和2年7月1日（水）～8月7日（金）書面開催

#### イ 出席委員

岡本委員、宮本委員、吉武委員、大庭委員、青木委員、児玉委員、大橋委員

#### ウ 議題

(ア) 公募プロポーザル実施要項について

(イ) 評価項目について

#### エ 主な質疑応答等

	質問	回答
1	「クラスター形成への貢献」に関する審査項目において、「健都イノベーションパーク内の他区画」等で整備予定の機能を考慮した提案を求めている点について、この「健都イノベーションパーク内の他区画」にパナソニックの Suita SST は含まれないと思うが、Suita SST について提案内容に含んでいる場合はどのように取り扱うのか。	SuitaSST は、「健都イノベーションパーク内の他区画」には含まれない。 SuitaSST が提案に含まれるか否かに関わらず、提案内容については、採点表記載の「評価の視点」等の観点から総合的に判断して評価する。
2	「クラスター形成への貢献」に関する審査項目について、国立健康・栄養研究所などとの連携内容に関し「具体的かつ実現性がある」ことを求めているが、一方で、国立循環器研究センターとの連携内容については、「具体性」のみを求める記載となっている。こちらについても「実現性」も求める記載にしてはどうか。	事務局で反映させる方向で検討する。

3	<p>「クラスター形成への貢献」に関する審査項目について、国立健康・栄養研究所との連携に関する提案がある場合は加点してはどうか。</p>	<p>健都イノベーションパークでの医療クラスター形成において、国立健康・栄養研究所との連携は重要なものだが、本事業においては、具体性や実現性などの視点で総合的に判断して、よりクラスター形成に資する提案を評価する必要があると考え、現行のままとする。</p>
4	<p>「地域経済への貢献」に関する審査項目については、吹田・摂津市域のみならず、府内経済の発展に資することも重要であるため、「地域企業にとってビジネスチャンスの拡大につながるなど、吹田市・摂津市をはじめとする府内の経済発展に資する提案である」としてはどうか。</p>	<p>事務局で反映させる方向で検討する。</p>

#### オ まとめ

公募プロポーザル実施要項及び評価項目について、出された意見を踏まえて必要に応じて事務局で修正し、選定会議で確認したうえで募集することとした。

(2) 第1回 吹田市健都イノベーションパーク利用事業（令和2年度公募）

事業者選定会議

ア 日時

令和2年8月7日（金）～8月28日（金）書面開催

イ 出席委員

健康医療審議監、都市魅力部長、環境部長、都市計画部長、理事（公共施設整備担当）

ウ 議題

（ア）公募プロポーザル実施要項について

（イ）評価項目について

エ まとめ

公募プロポーザル実施要項及び評価項目について、事務局案を採用の上、公募プロポーザルを開始することを確認した。

(3) 第2回 吹田市健都イノベーションパーク利用事業（令和2年度公募）

事業者選定会議部会

ア 日時

令和3年1月20日（水）午前9時41分～午前11時33分

イ 場所

オンライン（Zoom）開催

ウ 出席委員

落委員、宮本委員、吉武委員、大庭委員、青木委員、児玉委員、大橋委員

エ 議題

(ア) 応募事業者のプレゼンテーション

(イ) 応募事業者の提案内容に関する質疑応答

(ウ) 提案内容の評価

オ 主な質疑応答（応募事業者の提案内容に関する質疑応答）

	質問	回答
1	設計図上、本施設にはオープンな部屋しかないように見えるが、本施設内のどこでどのように事業を行う予定か。	本施設の2階と3階を活用し、基本的にはドライラボでの開発を進める予定。別の場所にある自社グループ保有のウェットラボも活用し、そこで得た実験結果を本施設に持ち込み、ここで事業を組み立てる形で進めたい。
2	急性期医療の分野での8K技術の活用や、心臓リハビリなど、提案にあったデジタルトレーニングセンター以外の分野でも国立循環器病研究センター（以下「国循」という。）との連携を進めていく予定があるか。 広い分野でイノベーションを集めていくにあたっての方針も教えていただきたい。	8Kや心臓リハビリについても、ぜひ今後連携を進めていきたい。 また、広い分野でのイノベーションの集め方については、弊社技術戦略センターが280を超える弊社グループ会社のとりのりまとめや研究開発スタイル等の仕組み作りを行っているため、弊社グループ会社との連携もこちらの部門を通して確実に進めていける体制を整えている。
3	20億円程度の収益を見込んでいるが、実現可能か。	デジタルトレーニングセンター事業やリハビリ事業、国立健康・栄養研究所（以下「健栄研」という。）との共同開発による健康食事業や防災備蓄庫販売の他地域への展開など、様々な新規事業により20億円の収益を達成する予定。

4	御社の経営理念と、今回の提案はその経営理念との関係でどのように位置づけられるかを伺いたい。	弊社は、「地球の恵みを社会の望みに」というスローガンを掲げており、環境事業・ウェルネス事業を中心に進める方針。今般の健都進出は、このウェルネス事業に関するものであり、弊社グループの経営方針としても重きを置いて進めていきたい。
5	国循及び健栄研との連携に際しての御社のコア技術は何か。	医療については、VRの画像処理や検査の信号処理、歯髄に係る再生医療等の口腔ケア分野のコア技術を持っている。 農食については、自動化・画像処理などのコア技術を持っている。
6	常駐の研究人員数はどのように予定しているか。	3階で研究を行うエンジニアについては、本社の人間だけでなく、関連する人材をその都度入れ替えながら100人程度配置することを予定している。
7	資金計画における賃料収入について、施設全体を貸付けるような計算になっているが、グループ会社に全てを貸すのか。そうすると事業主体は誰になるのか。	事業主体は弊社であり、全てを外に貸し出すのではなく、グループ内での賃料回収を考えている。会社全体で投資していくが、技術戦略センターの家賃収入を本社で回収する、という考え方で記載している。
8	国循等との共同研究事業について、本施設でやらなければならないものなのか。別の施設でも行うことも可能ではないか。	これらの事業については、国循や健栄研との物理的距離が近くなることにより構築される密接な関係なしでは達成できない部分がある。
9	3階に人員が100人程度入る予定であれば、3階は御社の人員だけで一杯になるかと思う。地元企業との交流はどうお考えか。	地元企業が入ることを想定しており、その際には弊社の人員を絞る又は2階に移すなどの方法を検討する。我々中心ではなく、連携できるベンチャー企業や地元企業を中心に入っていただき、社内の人員は調整する予定。
10	1階と屋上の開放時間はどのような予定か。	一般市民を招くために土日開放も必要と考えている。開館時間や曜日については、施設運営が始まるまでに事業計画と併せて検討する。

11	健康寿命の延伸に関する提案として、防災備蓄庫の記載があるが、どのように健康寿命の延伸に関係があるのか。また、避難所としても想定しているか。	<p>現在、病気に加え、災害に遭うことに不安を感じている方も多いため、心理的に住みやすい環境を整える意図で提案した。</p> <p>1階の在宅医療の展示スペースを避難所に利用できるように設計を進める予定。</p>
12	健康寿命の延伸への貢献のターゲット層やそのターゲット層への仕掛けなどは考えているか。	<p>フレイルドミノ防止の観点から、40歳以上をターゲットに考えている。</p> <p>特に、外に出ることが少なくなった世代の方々がボランティアや趣味を通じて予防できる取り組みを行いたい。</p>
13	採用イベントの実施について提案されているが、単に自治体などが行う採用イベントに施設内の場所を貸すということか。	自治体などが行う説明会もセミナースタジオで行っていただけだが、2階の技術展示等を通して、地元企業が行う事業を実際に体感し、就職先検討の場に活用していただければと考えている。
14	この施設で研究を行うというより、共同研究の原型を作ってユーザーニーズと合致させ、よりニーズに合ったものを作り出していく施設と考えているのか。	今までの研究開発は、技術者や研究者が中心となって行っていたが、本施設では、ユーザーニーズのマーケティングを入れた技術開発・研究を中心に行っていきたいと考えている。
15	健栄研との共同研究内容として災害食、フレイル予防及び屋上提供おつまみセットを提案しているが、具体的にどのように連携していく想定か。	健栄研による専門的知見からのアドバイスやそれに伴うエビデンス構築等を基に、弊社グループにおいて、製造、加工、流通及びECサイトによる販売等を行う想定。
16	売上高に対する研究開発費比率は何パーセントか。	<p>現在は、約1パーセント。</p> <p>しかし、現在SDGsを念頭に研究開発力を高めるよう進めており、脱炭素とウェルネスの二つの分野に研究開発費用をかけていきたいと考えている。</p>
17	地域経済への貢献ということで、地元企業のビジネスチャンス獲得の実現に向けた後押しを考えているか。	地元企業やベンチャー企業のコーディネートの中心になりたいと考える。共同開発や研究委託又はベンチャーキャピタル等も含めて、地元企業やベンチャー企業との連携を進めるよう考えている。

カ まとめ

- (ア) 応募事業者（1者）の提案について、プレゼンテーションを行い、委員と質疑応答を行った。
- (イ) 採点結果は選定会議に報告することを確認した。

(5) 第2回 吹田市健都イノベーションパーク利用事業（令和2年度公募）

事業者選定会議

ア 日時

令和3年1月27日（水）午前9時56分～午前10時23分

イ 場所

オンライン（Zoom）開催

ウ 出席委員

健康医療審議監、都市魅力部長、環境部長、都市計画部長、理事（公共施設整備担当）

エ 議題

（ア）提案内容の評価・選定について

（イ）その他

オ 主な質疑応答等

	質問	回答
1	審査項目のうち、「クラスター形成への貢献」の上段の項目と「事業実施体制」の項目の評価があまり高くない要因は何か。	「クラスター形成への貢献」については、外部連携によるオープンイノベーションの実績が十分にあるか確認できなかった点が低い評価につながっている。一方で、外部連携については今後に期待したいという意見もあった。 「事業実施体制」については、応募事業者は多様な分野で事業を実施しており、様々な技術を有しているが、その技術を活かしていく方法について具体性が欠ける部分があった点が低い評価につながっている。この点については、より具体化するよう努めてほしいとの意見があった。
2	「地域経済への貢献」の項目について、今後、操業開始までに事業者と協議し、より具体化するよう努めてほしい。	承知した。

3	<p>提案資料の中で今後 10 年間の計画は示されていたが、この建物をどの程度の期間使用する予定か。</p>	<p>具体的な期間までは事務局として把握していないが、10 年経過後も事業を継続してもらうことを想定している。土地売買契約の際に 10 年間の買戻特約を設定することで、土地引渡し後 10 年間は、土地の利用用途を今回提案された用途に制限するが、この 10 年の間にこの地に根付いていただき、10 年経過後も引き続き事業を継続してもらうことを想定している。事業者もその点は理解している。</p>
4	<p>建物の今後のランニングコスト及びライフサイクルコストについては、事業者がどのような計画をしているのか、今後の協議の中で十分確認してほしい。</p>	<p>承知した。当該建物については、応募事業者の事業実施に活用するのみならず、広く市民に開放されるものでもあるため、御指摘いただいたところについては確認しながら進めていきたい。</p>

#### カ まとめ

今般の応募事業者は 1 者であり、当該応募事業者の評価合計点数は、失格となる点数(各部会委員の評価点数の合計の平均点が 60 点未満)ではなかったことを確認した。

また、審議の上、募集要項に従い、応募事業者 エア・ウォーター（株）を優先交渉権者として選定することを全会一致で決定した。

#### 2 審査結果

優先交渉権者 エア・ウォーター株式会社

以上